

学校づくりはまちづくり・人づくり ～地域とともにある学校づくりをめざして～

1枚の布はたての糸・よこの糸が織りなすハーモニー

義務教育9年間の教育環境を1枚の布で例えてみましょう。

布は基本的にたて糸とよこ糸が織り重なってできています。

たて糸とよこ糸の材質や織り方の工夫によって、千差万別の特色のある生地が出来上がります。

では、教育環境におけるたて糸とよこ糸とはなんのでしょうか？

その中で地域学校協働活動推進委員についても触れてみます。

たて糸 たての教育

《小中一貫教育》

同じ中学校区の小学校(吉舎小学校・八幡小学校)と吉舎中学校の3校で、子どもたちの義務教育の9年間、吉舎中学校区の小中学校が教育目標やめざす子どものすがたを共有・継続して教育環境の充実に取り組んでいます。吉舎町では、さらに保小中高が連携してよりよい学校づくりに取り組んでいます。

よこ糸 よこの教育

《コミュニティ・スクール》

コミュニティ・スクールは学校運営協議会を設置している学校のことです。「地域とともにある学校づくり」をめざし、学校運営に家庭・地域住民が協働して子どもたちを育んでいく教育のあり方のことです。

学校運営協議会

学校運営に保護者・地域住民の代表が学校運営協議会委員として参加していきます。地域と連携してどのような活動・行事をしているかということも大切ですが、地域と協働してどのように学校運営を進めているかが重要になります。

地域学校協働活動推進委員

学校と地域が効率的に協働できるよう、連絡・調整、地域住民に理解を促す役割を担います。吉舎中学校区では令和6年1月に始まったばかりで、まだまだ手探りの状態です。今のところは各校に月に2回程度滞在して、児童・生徒の授業風景を見て回ったり、教職員とのコミュニケーションを図ったりしています。地域の皆様方との連携もまだこれからの状況です。

地域とともにある学校

《学校づくりはまちづくり・人づくり》

各学校ともホームページを開設しています。また学校だよりを発刊して情報公開に努めていますのでぜひご覧ください。地域の方々と児童・生徒との積極的な交流は将来のまちづくり・人づくりの糧となるはずです。



八幡小
修学旅行用のカバンを作っています



吉舎小 道徳の授業風景



吉舎中 理科の授業風景